



# かみやま

学校教育目標

ここに学び ここで遊ぶ ここがふるさと上山の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyama/>



## 「継続」こそ力なり

校長 窪田 剛久

今朝も寒い中、子どもたちの「おはようございます！」の音が響いていました。日々こうして聞こえてくる声に励まされながら、気づくともう1年間が過ぎ去ろうとしています。保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちのために多大なご協力、ご支援をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度もいよいよ最後の月となりました。今まで学び、取り組んできたことを、子どもたちはきっと、次の年度につなぎ、花開かせていくことなのでしょう。子どもたちの大きな成長を、これからも学校全体で支えていきたいと思っています。取組といえば、日々の積み重ねが大きな成果に結びつきますね。あきらめず、粘り強く、そして継続して続けていくことがとても大切です。大人になれば、多くの方が実感していることなのでしょう。

さて、「子どもには望むべき生き方を選んでほしい」という思いを抱いたことは、ほとんどの方にあるのではないのでしょうか。私もそのような思いを抱いたり、自分の親から感じたりしたことがあります。大人はそういうとき、こういう言葉を使うことがあります。

「だれにも負けないと言えることを、一つでもいいから身に付けなさい。」

子どもにとっては、励みになる言葉なのかもしれません。ただ、ふと思います。

「自分に、だれにも負けないと言える何か身に付いているだろうか。」

人より優れたものを身に付けるのは、かなり難しいことではないのでしょうか。

ここで考えたいのは、「人より優れた何か」を身に付けるという発想から抜け出せないかということです。人より優れていなくても、「進んで続けられる何か」を見つけることは、大きな生きがいになるのではないのでしょうか。そして、続けて取り組んでいることが自身を成長させ、個性の一部を形づくり、その人らしさになっていくのだと思います。まさに生涯学習です。「継続」こそ、人生にとって大きな価値になります。

昨年朝会で「大人になった自分を想像するより、来年どんな自分でいたいのか。来月、来週、明日はどんな自分でいたいのかを考えてみよう」という話をしたのを思い出します。遠い未来を想像することも大事ですが、短いスパンで目標を立て、スモールステップで成長を積み重ねることが「今を生きる」ことだと子どもたちに伝えました。できないことができるようになること。分からなかったことが分かるようになること。そういった積み重ねが子ども自身に成長を実感させます。そしてその実感を原動力として、取組を「継続」すること。それこそが「生きる力」だと思います。人と比べるのではなく、自身を成長させ続ける、そういった力を子どもには身につけさせたいと思います。



上山小学校では、毎朝昇降口前で「おはようございます！」という元気なあいさつの声が響いています。運営委員会の児童中心に編成された「あいさつ隊」の声です。子どもたちが中心となって「あいさつ運動」を展開することは、多くの学校で行われています。ただ私が大きく感心したのは、その取組が春から今まで「継続」して続いていることです。暑い日も寒い日も、風の吹く日も雨の日も、子どもたちは昇降口付近に立ち続け、この取組を「継続」しました。この行動に共感した他の児童がボランティアで

参加するなど、地道な取組が広がりを見せています。自分たちの取組によって身近な社会に影響を与え、そこで暮らす人たちの行動を変えていったのです。この取組を通して子どもたちは自身の行動に価値を見出し「継続」することで、紛れもなく「生きる力」を高めていったのではないのでしょうか。上山っ子に秘められた大きな力を実感せずにはいられません。こうした取組を大切に、多くの子どもたちが成長し続けられる上山小を目指していきたいと思っています。一人一人が「生きる力」を身に付けていけるように、職員一同アイデアを出し合い工夫して学校運営にあたっていきます。来年度もまた保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をいただけましたらありがたいです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。